

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 29 年 12 月 11 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	鋼板加工工場における照明設備の更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1399
排出削減事業者名	大阪スチール株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：横河商事株式会社)
事業実施場所	大阪スチール株式会社 本社工場 京都府八幡市川口擬宝珠 6-5
事業の概要	鋼板加工工場の天井に設置された照明設備を水銀灯から LED 照明設備に更新することでエネルギー消費量を削減し、CO2 排出量を図るものである。
排出削減量の計画	2012 年度： 10 tCO2 2013 年度： 67 tCO2 2014 年度： 60 tCO2 2015 年度： 55 tCO2 2016 年度： 53 tCO2 2017 年度： 45 tCO2 (事業実施期間合計： 290 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013 年 2 月 7 日 終了予定日 2018 年 2 月 6 日
排出削減方法論	方法論 006：照明設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2017年9月30日（第3回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	229 tCO ₂ （2015年4月1日 ～ 2017年9月30日）
-------	-----------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所である大阪スチール株式会社本社工場において LED 照明設備が設置されていることを現地にて目視確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるデマンド日報等の資料により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法において、照明設備の稼働時間の把握について、点灯及び消灯時間の記録から集計するとしていたものを、別途記録している操業時間の記録から把握することと変更された。担当者へのヒアリングにより操業時間中は照明設備全てが常時点灯していた実態が確認され、変更後の活動量の把握方法は妥当であると判断した。その他については排出削減事業計画書に基づき適切に実施されていることを確認した。

	<p>2) 上記変更に基づき操業時間について適切に記録・集計され、使用量の把握・管理が確実になされていることを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>算定期間は、2017年9月30日までであり、認証期間の終了日である2018年2月6日を超えていない。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算 111.1kL であることを確認した。